情報公開文書

研究課題名	mediVRカグラを用いた体性認知協調療法の臨床効果に関する 前向きランダム化比較研究
所属（診療科等）	国立病院機構渋川医療センター　脳神経外科
研究責任者	大井　雄太
研究機関	国立病院機構渋川医療センター　脳神経外科
研究期間	研究機関の長の許可日から 2027 年 3 月 31 日まで
研究目的と意義	mediVRカグラガイド下リハビリテーション（体性認知協調療法とも呼ぶ）の各種身体機能、認知機能指標に対する改善効果を検証する。入院患者に対して使用し、その効果を前向きランダム化比較研究のデータとして集め、多疾患でカグラを使う患者と使わない患者に対して多面的な解析を行う。
研究内容	●対象となる患者さん； 脳卒中集中治療室に入室し、身体機能障害（失調症状、歩行やバランス障害、上肢機能障害、構音・嚥下障害等）、又は認知機能障害（高次脳機能障害、注意障害及び半側空間無視等）を呈する患者。
	●利用する情報；　患者さんの背景（年齢、性別、基礎疾患など） 本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。
	●研究の概要・方法； この研究はランダム化比較試験として実施され、参加者は無作為に 2 つのグループに分けられる。一方のグループは mediVR カグラを用いたリハビリテーションを受け、もう一方のグループは標準的なリハビリテーションを受ける。リハビリテーションの前後で以下の指標を計測、評価。共通評価指標：Functional Independence Measure(FIM)、Stroke impairment Assessment Set (SIAS)、10m 歩行テスト、Timed up and go test(TUG)、Brunnstrom Stages (BRST)、Fugl-Meyer Assessment(FMA)、Motor Activity Log(MAL)、Box and Block Test(BBT)、Mini-Mental State Examination(MMSE)、Frontal Assessment Battery(FAB)、Trail Making Test(TMT)。運動失調を認める患者：Scale for the Assessment and Rating of Ataxia(SARA)。注意障害を認める患者：線分抹消、星印抹消。構音障害を認める患者：Assessment of Motor Speech for Dysarthria(AMSD)、Oral diadochokinesis。失語を認める患者：Western Aphasia Battery(WAB)。Lateropulsion を認める患者：Scale for Contraversive pushing(SCP)。その他研究者が必要と認めた指標。
問い合わせ先	研究担当者氏名：大井　雄太（医師） 国立病院機構渋川医療センター　脳神経外科 住所：渋川市白井 383 番地 電話：0279-23-1010　　FAX　0279-23-1011